

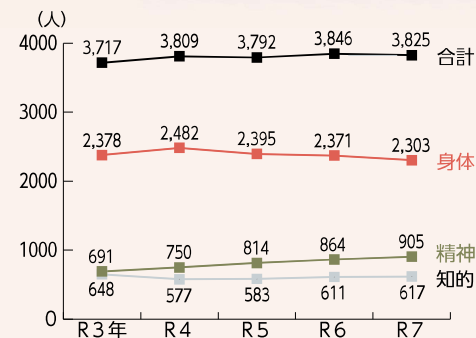
障がいを知る、見守る

障がいを理解してお互いを尊重する社会へ

本市は、障がいのある人に対する差別をなくし、相互に人格と個性を尊重し合える社会を目指しています。障がいの特性や就労継続支援施設、新たな活動の取り組みを知るとともに、障がいについて考えてみませんか。

福祉支援課 障がい福祉係
☎ 0263⑤0280 内線2115

■障害者手帳の交付数



出典：福祉支援課

障がいの理解は、特性などを知ることから

障がいは大きく分けて、身体障がい、知的障がい、精神障がいの三つに分類されています。それぞれの障がいの中にもさらに分類があり、障がいの特性や特徴は一人ひとり異なります。障がい者の数は増加傾向にあり、市内では、令和7年4月時点で3825人います（グラフ参照）。

外見で分かる障がいはもちろんですが、外見からは分からない障がいもたくさんあり、皆さんの配慮や理解を必要としています。以前から、障がいへの理解が進みつつあり、スロープや手すり、専用駐車場や車椅子用観覧席などをよく見かけるようになりました。バ

人それぞれ性格が違いうように、同じ障がいでも人それぞれに特性があります。言動は障がい特性からくるものであり、本人は苦しんでいるかもしれません。ここでは、外見からは分かりづらい障がいの

温かく見守ることも大切

障がいは、どのような特性や特徴、意味があるか、まずは知ることから始めてみませんか。

障がい者の福祉について関心と理解を深め、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、毎年12月3日から9日までの7日間が「障害者週間」に設定されています。障がいは、どのような特性や特徴、意味があるか、まずは知ることから始めてみませんか。



本市では障害者週間に、スーパーなどでクッキーの手配りなどを行い、障がいへの理解を促進するために活動しています。

知的障がいによる四つの言動

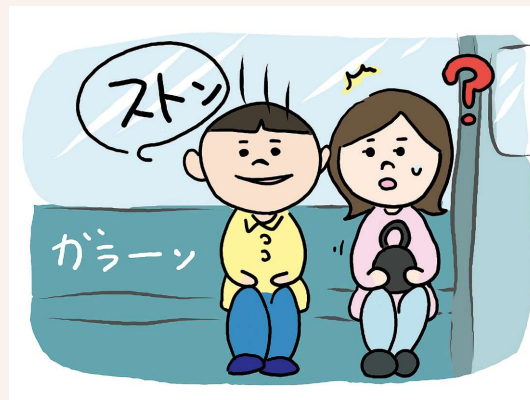
知的障がいには、言動に特性がある人もいます。うろうろ歩き回ったり、独り言を言ったり、大きい声や落ち着いた言動、繰り返しの確認作業…。これらは、本人にとっては落ち着いた言動であり、不安な気持ちを和らげているのかもしれないと考えましょう。

大声を出す



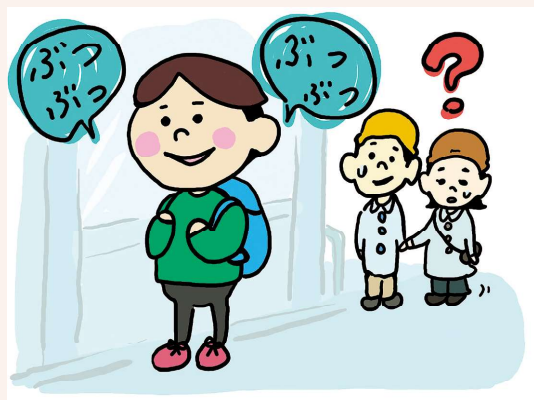
不安などで、感覚が敏感になって耳をふさいだり、自分の声で落ち着こうとしていたりすることもあります。

落ち着く場所・物がある



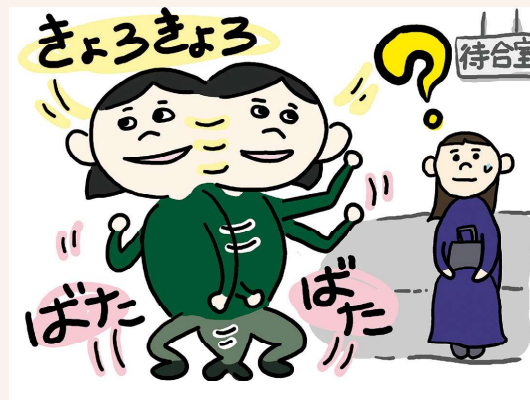
ささいな事で不安になることがあります。いつもの場所や気に入った場所は、とても安心します。

独り言



うれしくて独り言で趣味の世界を楽しんだり、出来事を繰り返し思い浮かべ、気持ちの整理をしたりしていることもあります。

ばたばた・きよろきよろ



緊張や不安で気持ちが落ち着かない時に何度も飛び跳ねたり、周りを見渡したりして平静を保とうとすることがあります。

障がいと向き合い、障がい者が社会で自立していくために、地域で支援する人たちがいます。次のページからは、障がい者が、就労の経験や業務スキル、社会的活動を訓練するために利用する市内の就労継続支援事業所や、日常生活での居場所を広げるために行う新しい取り組みなどを紹介します。

就労支援と新たな居場所づくり

障がい特性を知れば、きっと違う目線で見ることができ、理解につながります。その人の落ち着きにつながります。その人の落ち着きにつながります。声を掛け、手を差し伸べることもとても大切なことではありますが、見守りもとても大切です。まずは障がいを知り、温かい目で見守ってください。

一つ、知的障がいのよく見られる特性の中から、「大声を出す」「落ち着く場所・物がある」「独り言」「ばたばた・きよろきよろ」の四つを紹介します（上図参照）。知的障がいの特性として、自分の思いを言葉にうまく伝えられないという特徴があります。また、周りからの視線を被害的に捉えてしまい、不安定になってしまいうことも多くあります。言葉での表現は難しいため、行動やしぐさで表現し、伝わらないものかしさから不安が強くなります。

就労継続支援A型事業所 ドネーション (大門七区)

市内唯一のA型就労継続支援施設です。カードケースの箱折りをはじめ、ビジネスホテルの客室やエアコン内部の清掃、秋には塩尻市ならではのブドウの収穫などさまざまな仕事を受注していて、ドネーションの利用者がプロ並みの技術で応えています。

A型事業所は、利用者を職業と結びつけ、社会への自立・社会への参加ができるようにするため、職員による仕事の指導には熱い思いを持っています。ほうきの使い方や雑巾での掃除も分からなかった利用者が、清掃を一人前にできるようになり、ご家族から感謝されたときはとてもうれしかったです。

仕事で収入を得て将来を考えられるように、これからも職員一同で就労支援をしていきます。

イチ押し



エアコン内部の清掃など、技術が必要な仕事を受注



施設長
北澤 充典さん

働く場所 市内の就労 継続支援施設

障がい者が、就労の経験や業務スキル、社会的活動を訓練するために利用する市内の就労継続支援事業所。特徴や就労支援への思いなどを各事業所の職員に聞きました。

就労継続支援B型事業所 みどりが丘 (野村)

公民館や社会福祉協議会のホール、トイレの清掃、市内の除草、カプセルトイレの組み立てなどを受注。ふれあいセンター広丘内で営業している「すみれ食堂」がみどりが丘の特徴です。開店前の準備で客席を掃除し、営業中は受け付けや食事の提供をします。調理は職員が行いますが、営業中のお客さまとのやりとりには、事業所内での作業とは違った楽しさや難しさがあり、働く利用者も日々学んでいます。また、花見や五平餅づくり、趣味の発表会などのレクリエーションを月1回ほど行い、仕事だけでなく利用者同士の交流も楽しんでいます。

無理なく1日過ごせて、それが2日になり、1週間になり、外に出る生活になるよう生活のリズムを整え、自立することを目指しています。

イチ押し



すみれ食堂では、日替わりメニューなどを安く提供



所長
増澤 郷恵さん

就労継続支援B型事業所 そよ風の家 (野村)

外部から受けている主な業務は、線香の箱折りや商品の梱包、福祉施設のトイレ清掃などです。さらに、そよ風の家では、自主製品として菓子（クッキーやはちみつケーキ）、布製品（刺し子や布巾、バッグなど）を作っています。クッキーは10年以上の定番商品で、はちみつケーキは国産の蜂蜜を使用している人気商品です。受注業務も自主製品も、利用者の得意なことを生かして仕事ができるようにしています。

作業量のバランスを考え利用者の負担を割り振り、仕事が終わった時に利用者の皆さんに1日来てよかったと思ってもらえるように、就労支援をしています。

イチ押し



自主製品のクッキーや木工キーホルダー、刺し子



所長
百瀬 努さん

※就労継続支援とは、通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対して、就労や生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識と能力の向上のために必要な訓練などの支援をします。A型事業所は雇用契約に基づく就労が可能である利用者と雇用契約の締結などとし、B型事業所は雇用契約に基づく就労が困難な利用者が通所します。

就労継続支援B型事業所 はなひらく塩尻 (野村)

薬局が母体の事業所なので、薬局の窓拭きや使用書類への押印、錠剤シートのリサイクルなどの作業を行っています。はなひらく塩尻の特徴は、日替わりの弁当と自社で水耕栽培しているサラダの配達です。日替わりメニューは、1週間毎日、丼物が続かないようにメニューを工夫しています。仕込みなどの調理補助からお客さまへの配達まで行い、自分たちが作った物が届いていることを実感。柔らかくおいしいサラダは、お客さまにとっても喜んでいただいています。

包丁を使う弁当の調理は、人気の作業です。包丁での調理を誰に任せるかなど、利用者の背中をどのくらい押してあげるかには毎回悩みます。ただ、調理ができることで、自立した生活につながると思うので、基本は挑戦させてあげたいと思っています。

イチ押し



人気メニューのキーマカレーと水耕栽培のサラダ



統括責任者
小池 雄悟さん

就労継続支援B型事業所 ちゅーりっぷ (原新田)

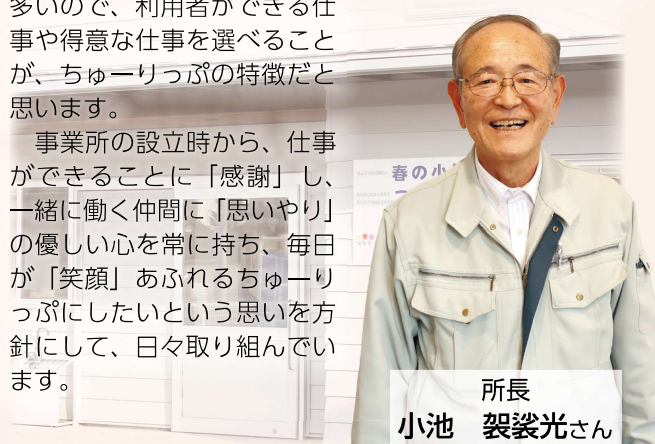
令和2年に設立。今では平均工賃が、県内のB型事業所の中で8番目、中信地区では1番高い事業所です。さまざまな仕事を受けていて、ダイレクトメールの仕分け・封入や食料品の検品・梱包などの施設内作業と、庭木の剪定や社員食堂の補助作業、ポスティング、ワイナリーの除草・収穫・片付け作業などの施設外作業があります。受けた仕事に責任を持ち、リピートしていただいているので、信頼や満足を得られていると思っています。仕事の種類が多いので、利用者ができる仕事や得意な仕事を選べることが、ちゅーりっぷの特徴だと思います。

事業所の設立時から、仕事ができることに「感謝」し、一緒に働く仲間に「思いやり」の優しい心を常に持ち、毎日が「笑顔」あふれるちゅーりっぷにしたいという思いを方針にして、日々取り組んでいます。

イチ押し



感謝などを忘れないよう事業所内に掲げるスローガン



所長
小池 契崇光さん

就労継続支援B型事業所 エフォートマシュマロ (大門七区)

事業所内で行う仕事を中心に、クッキーの製造・販売、布バッグやスマホホルダーなどの布製品の作成、機械部品並べ、土産品の梱包などを行っています。外での仕事として、健康ランドや企業のトイレ清掃なども行っています。利用者は、好きなことや得意なことを選んで真面目で手を抜かずに働いています。職員が準備をしておく、利用者はうまく流れてやってくれて、発注していただいた企業から「ありがとう」と感謝されることが多くあります。

作るクッキーは、ハロウィンやクリスマスには、季節を感じる形に変えています。小坂田公園などで売っていますので、ぜひ購入してください。また、一緒に働いてくれる職員も募集しています。

イチ押し



クッキー、雑巾やスマホ入れなどの布製品を作成



理事長
上原 泉さん

就労継続支援B型事業所 のむらダイム (野村)

職員や利用者に女性が多かったこともあり、布製のバッグを自主製品として作って販売しています。カーテン生地を頂き、工業用のミシンで作成する布バッグは、裏地付きでポケットもあり、丈夫で機能的だと思います。受注業務としては、レタスなどの畑で収穫後のマルチ剥ぎやヤマイモ棚片付け、市内ワイナリーでの農作業などの農福連携の仕事や、宅配業者のコンテナ清掃などがあります。冬場は農作業などできないので、企業から依頼があったニンニクの水耕栽培も行っています。

「良いところを伸ばし、できないことは、できるように！」毎日元気に、仕事を頑張ろう！「生き生きと生活しよう！」を目標に活動しています。

イチ押し



布バッグは、巾着タイプやファスナー付きがある



職業指導員
太田 八重子さん

地域での生活を広げる 心と体を健康に保つきっかけに

長年地域に密着している入浴施設の桑の湯に行き、新しい居場所の創出やさまざまなお客さんとの交流のきっかけになるよう、市と塩尻市社会福祉協議会で初めて企画しました。市内に住む障がい者を対象に、みんなで桑の湯に行こうというシンプルな内容です。



桑の湯新聞は、障がいについて知ってほしいことなどを掲載

ニコニコ温泉は、東京や大阪などで五つの銭湯を運営していて、それぞれの銭湯で自治体と連携し、高齢者が入浴しやすいように料金を下げ、日を設けています。桑の湯でも、いろいろなお客さんに来てもらいたくて、自治体と協力してできることがないか考えているときに、つながりのあった塩尻市社会福祉協議会に相談しました。そこで、市や社会福祉協議会と協力して、就労継続支援B型事業所の利用者が、就労後の汗を流すために桑の湯に来てもらう機

地域の人も障がい者も、
いろいろな人に入浴を
楽しんでもらいたい



ニコニコ温泉株式会社
桑の湯店長 山田 花さん

会をつくりました。市職員などの引率はありますが、私たちが特別なサポートをすることもなく、入浴を楽しんでいただけました。感想を聞くと、笑顔で「気持ちよかったです」と言ってくれて心が温まりました。

また、市と社会福祉協議会が作成した「桑の湯新聞」を浴場内に貼り、入浴するお客さんに知ってもらうことにも取り組みました。障がい者と地域の人との交流の場になることも期待しています。

この入浴をきっかけに、障がいのある人にも継続して来てほしいです。今はみんなで集まって来ていますが、ゆくゆくは一人でも来てくれるようになると思います。入浴時の困りごとなどが分かるよう、いわゆるヘルプマークがあれば、より入浴がしやすいと思います。

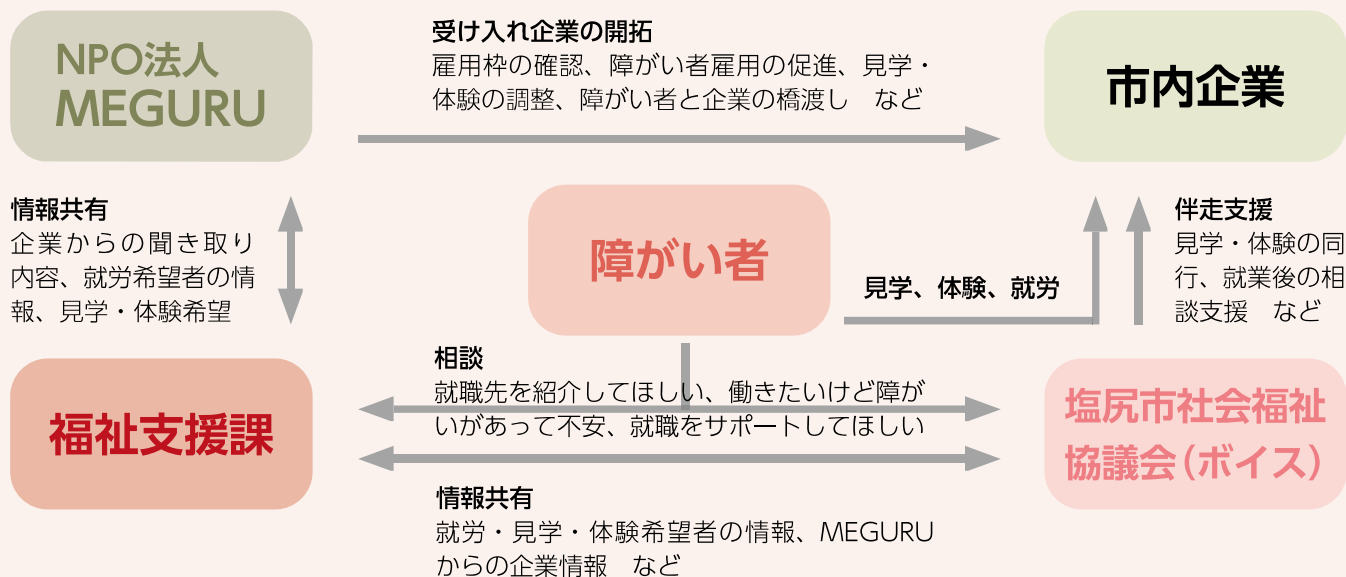
桑の湯は大衆浴場なので、障がい者だけでなくいろいろな人に、入浴を楽しみに来てもらいたいのです。



障がい者と企業のマッチング 就業・生活支援コネクター事業

就業・生活支援コネクター事業では、心身に障がいのある人や引きこもり状態にある人などが、個々の能力や適性に応じて就労できるよう支援します。地域企業に対して、障がい者雇用に関する理解を促進し、地域における就労支援の仕組みを構築することが目的です。

事業のフロー図



障がい者雇用を考えるきっかけになってほしい

市内には、人材面で課題を抱えている企業が多くあります。その中で、解決策の一つとして障がい者雇用という選択肢を持っていただけるよう、企業側との対話を進めています。

障がい者の受け入れはケースごとにさまざま、決まったかたちがありません。だからこそ企業側も、どう準備すればいいのかわからず、最初の一步

を踏み出しにくいのが現状だと思います。私たちの役割は、企業の業務と一緒に整理しながら、「この部分なら任せられるかもしれない」という業務の切り出し観点を引き出し、必要に応じてアレンジし、双方が安心できる点を探っていくことだと思います。

この事業が、障がい者雇用を前向きに考えるきっかけになればうれしいです。



NPO法人MEGURU
清住 朋香さん 草野 エリさん

新春お年玉クイズ

正解者の中から抽選で、合計10名様にワインまたはブドウジュースをプレゼントします。

■応募方法 右のコード(市公式LINE)で友だち登録し、トーク内メニューの応募フォームで必要事項を入力の上、ご応募ください。LINEを使えない人は、秘書広報課広報広聴係(☎ 0263②0333)にご相談ください。



■応募締め切り日 1月31日(土)

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。また、当選者が20歳未満の場合は、希望に関係なくブドウジュースをお送りします。

※プレゼントの発送は2月下旬予定です。

左右の絵には違いが**三つ**あります

